

2025年3月31日

三鍋敏郎

困った時の大文字山。午後から組合の総会があったので近郊の山を選んだ。

銀閣寺道バス停から東に向かうと銀閣寺にでる。参道は人が多く挨拶が大変なので中尾城跡コースに逃げると人が少なく静かに歩ける。城跡から中尾の滝に向かう。荒れた谷を進む。小川の砂に散らばる雲母が砂金のように輝いて美しい。ここの谷沿いの道は植生が豊かで楽しみが多い。中尾の滝を見て幻の滝に向かう。この辺りも大木が多く幻の滝の広場の上空ではタムシバの花が開き始めていた。

広場を後に広い谷を進むと、谷の中ほどに、例の怪しい花壇が作られている。以前は皇帝ダリアが植えられていたので一悶着あったらしい。いつも違和感を覚える花壇である。

山頂に向かう尾根はヒサカキなどの常緑樹が多く日差しは少なく暗い。やがて比叡山に見える広い斜面を登るとアセビの白い花が出迎えてくれる。大文字山山頂は相変わらず人が多い。少し早いランチタイムとする。

蹴上に向かう尾根には道標が多く迷うことは少ない。早咲きのミツバツツジを見つけて喜び、藪椿の花にも感動する。なかなか楽しい尾根歩きができるので私のお気に入りのコースである。日向神社に下り、インクラインで桜や着物美女を鑑賞し、蹴上の浄水場でひと時のコーヒブレイク。

